

NASSER SAIDI

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Former Chief Economist and Head of External Relations of Dubai International Financial Centre (DIFC)



Topics

- Economics
- Finance
- Government
- Politics

Nasser Saidi博士は、ドバイ国際金融センター(DIFC)の元チーフエコノミスト兼外交責任者で、2006年から2012年の間にDIFCのHawkamah-Institute of Corporate GovernanceおよびMudara Institute of Directorのエグゼクティブディレクターを務めています。

これらの能力の中で彼は、DIFCとドバイ政府に戦略と助言を提供するDIFCのチーフエコノミストの役割を構想し発展させた。スポークスマンとして活動し、広く普及した一連の出版物を開発し、国際的にDIFCを推進しました。彼は、DIFCと国際金融機関(IMF)OECD(IFC)世界銀行(MIGA)および国際金融センターとの外部関係を確立し発展させました。サイディ博士は、DIFC事業者のための安全でインターアクティブ、オンライン、ウェブベースの登録、報告および統計システムであるDIFCSTATを設計および設定しました。Hawkamahコーポレートガバナンス研究所の創設者および専務理事として、アドバイザリーサービス、研究および提唱を通じてコーポレートガバナンスのギャップを埋めるために地域研究所を設立しました。

サイディ博士はIMFのMENA地域諮問グループのメンバーであり、経済協力開発機構(OECD)のMENAコーポレートガバナンスワーキンググループの共同議長でもあります。グローバルコーポレートガバナンス改革を推進する世界銀行の機関である、グローバルコーポレートガバナンスフォーラムの民間セクター諮問グループのメンバーです。また、地域のクリーンエネルギービジネス評議会の議長も務めています。

2012年に、彼は4年連続で、中東の雑誌によって世界で最も影響力のある50人のアラブ人のうちの1人に選ばれました。

サイディ博士は、1998年から2000年までの間にレバノン経済貿易大臣とレバノン産業大臣を務めました。1993年から1998年と1998年から2003年までの2つの連続した任務で、最初のレバノン中央銀行副総裁でした。彼は、2000年から2006年までの2年間にわたり、国連開発政策委員会(UNCDP)のメンバーであり、元国連事務総長のコフィ・アナンから任命されました。

彼は、レバノンとその地域におけるマクロ経済、資本市場の発展、国際経済の問題について数多くの書籍と出版物を執筆しており(MENA諸国におけるコーポレートガバナンス：透明性と開示の改善)の著者です。彼の研究分野は、マクロ経済学、金融市場の発展、支払いシステムと国際経済政策、そして情報通信技術(ICT)です。

サイディ博士は民間銀行家であり、アラブ諸国、ヨーロッパ、中央およびラテンアメリカの多くの中央銀行および金融機関の経済顧問兼取締役を務めました。公職に就く前は、シカゴ大学の経済学部、エチュード国際大学(CHED)およびUniversité de Université deで経済学の教授を務め、学者としてのキャリアを積んできました。ジュネーブまた、アメリカのバイルート大学とバイルートのセントジョセフ大学で講師を務めました。

サイディ博士は博士号を取得しています。アメリカのロチェスター大学で経済学の修士号を取得しました。ロンドン大学ユニバーシティカレッジ、バイルートアメリカン大学から学士号を取得。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988